

令和2年度第1回三重大学医学部附属病院監査委員会議事概要

日 時 令和2年9月30日（金）13:30～15:30

場 所 三重大学医学部附属病院外来棟5階大ホール

出席者

○委 員

鈴木明（委員長）、小池敦、片山眞洋、奥野正義

○三重大学附属病院出席者

伊佐地病院長、兼児副病院長（医療安全管理責任者）

薬剤部：岩本薬剤部長（医薬品安全管理責任者）、向原薬剤主任

臨床工学部：山田技士長（医療機器安全管理責任者）

医療安全管理部：飯澤医師、奥村看護師長、岩本看護師、水谷薬剤師、大辻薬剤師

○三重大学陪席者

服部監事（業務監査担当）、粟生監査課長、井澤医学・病院管理部長、

伊藤総務課長、土屋医事課長、その他事務担当者

〔配付資料〕

- ・資料1-1 リスクマネジメントマニュアルの改訂について
リスクマネジメントマニュアル（必読版）第10.2版
- ・資料1-2 院内認定資格制度について
- ・資料2 ICU入室患者の監査について
- ・資料3 臨床倫理コンサルテーションチームについて
- ・資料4 事前質問事項に対する回答について

事 項

1. 三重大学医学部附属病院における医療安全管理体制について

（1）リスクマネジメントマニュアルの改訂について（資料1-1）

兼児副病院長より、資料1-1に基づき、リスクマネジメントマニュアルの改訂内容の説明があり、その改訂に基づいた高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品・医療機器のモニタリング実施状況の報告があった。

（2）院内認定資格制度について（資料1-2）

兼児副病院長より、資料1-2に基づき、院内における「一般病棟における注射用カリウム製剤の5倍希釈法」と「処置時の鎮静および鎮痛における観察者」の資格制度の概要および認定までの流れの説明があった。

2. ICU 入室患者の監査について（資料2）

岩本看護師より、資料2に基づき、ICU 入室患者に対するカルテ監査の実施の背景とその方法等の報告があった。ICU に入室した患者の中で、一定の基準を満たした患者のモニタリングを行い、その結果を考察し今後の課題を確認した。

3. 臨床倫理コンサルテーションチームについて（資料3）

奥村看護師長より、資料3に基づき、臨床倫理コンサルテーションチームの活動内容とその状況についての報告があった。医療安全管理部のみで対応するのではなく、緩和ケアチームの看護師や臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種とともに活動することで、患者さんとそのご家族に対して広い視野で対応が可能となったことを確認した。

4. 事前の質問事項に対する回答について（資料4）

事前に委員より提示した以下の質問事項に対して各担当より回答があり、回答内容を踏まえて委員との意見交換を行った。

特に医師の不正による診療報酬不正請求に関する事案が発生していることに伴って、周術期管理を担当する医師の人員不足への対応や患者様への健康被害の状況などに関して医療安全の視点から意見交換を行い、全身麻酔手術に関しては麻酔管理専従の医師を必ず配置する手術室体制を堅持しており手術件数も制限していること、患者様への不必要な薬剤の投与は行われておらず健康被害は発生していないことを確認した。

「医療安全管理体制全般について」

- （1）周術期を担当する医師不足への対応状況
- （2）リスクマネジメントマニュアルを用いた研修会の実施状況や活用による効果

「医薬品の医療安全管理体制について」

- （1）手術室での医薬品管理体制
- （2）薬剤投与の虚偽記載への医療安全管理の視点からの評価

「医療機器の医療安全管理体制について」

- （1）医療機器に関する新型コロナウイルス感染症対策の内容について

5. 医療安全に係る取組状況の院内ラウンド

PCR センターの巡視を行い、1 日20件程度実施していることを確認した。

●委員会より、以下のとおり講評を行った。

事項1について、リスクマネジメントマニュアルは、今後も現場の必要に応じて改訂を進めていただき、よりよい内容となるよう改訂を継続していただきたい。院内認定資格制度は、明確な基準を作成し、誰が何をしたいのか組織としてルール作りを行っており、良い取組みだと感じた。今後は、さらに資格認定者が増え、より安全な組織となることを期待したい。

事項2について、すべての患者を監査することが難しいなかで、監査の方法として効率よく考えられたシステムだと感じた。結果を数字として出しているため、フィードバックを行うにも有用だと感じた。さらに結果を蓄積していくことで、診療やケアの質の改善につながると考えられるので、今後も継続して取り組むことを期待したい。

事項3について、多職種での対応が功を奏していることを確認した。対応事例については、勉強会として全職員を対象とした研修のなかで取り上げることともに、チームのメンバーに対する個別の研修を病院としてバックアップすることも検討されたい。

新型コロナウイルス感染症について、病院には医療安全が求められているなかで、医療従事者のメンタルケアを含めた医療安全管理体制の構築を期待したい。

以 上